



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

自分を好きになるということとは

こうして、みなさんが元気に登校できて3学期を迎えられたことをとてもうれしく思います。どんな冬休みだったでしょうか？冬休みに入る前、私から皆さんに伝えたこと。「自分のよさを見つけ、そのよさを伸ばす冬休みに！」はできたでしょうか？このことは、これからも続けてほしいことです。そんな願いを込めて、今から絵本の読み聞かせをします。

高橋うらら作 浜野ふみ絵『じぶんをすきになるおまじない』大泉書店です。

(あらすじは、次のとおり)

自分に自信がもてず、いつも泣いてばかり。自分をすきになれないモグラちゃんでしたが……。

最近はそのようなこともあまりなくなって……。

そのわけは……。

おばあちゃんが教えてくれた じぶんのことをすきになるおまじない。

おなじ悩みのウサギちゃんにも、モグラちゃんはそのおまじないを教えてあげるのでした。

「まず、よるになったら まどをあけて……。」

おうちに帰って試してみたウサギちゃん。

そのよるは、今までにないくらいぐっすりねむることができたのです。

自分をすきになれるということとはとても大切なこと。そうすると、人も大切にできるということですね。

この年の始め、大地震があったり、航空機事故があったりと、穏やかな年の始めとはなりませんでした。大勢の方々が災害の犠牲となりました。改めて心からご冥福をお祈りいたします。どんなに気を付けていても、いつどんな災難が降りかかってくるかわかりません。最悪、命を奪われることになるかもしれません。そんなことを考えたとき、命尽きるそのときまで、自分のことを好きだと思えて、その自分のよさを精一杯発揮しながら生きぬくことがやはり大切だという気持ちを強くしました。そのことが、人を大切にしたい生き方にもつながり、平和な世に中を築くことにつながるのだと思います。そんな気持ちでこれからの3学期、53日、6年生は48日を過ごしていきましょう。

始業式等の様子



【児童代表挨拶】3学期の目標がしっかりと発表できましたね！



3学期初日からとても落ち着いた態度の阿賀っ子です！